

各位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード：4563 東証グロース)

**「赤ちゃんの日」(10月10日)より希少遺伝性疾患の
診断・早期発見・早期治療の重要性に関する啓発活動を開始**

当社は、10月10日の「赤ちゃんの日」(※)より、希少遺伝性疾患の診断・早期発見・早期治療の重要性並びに新生児スクリーニング検査について認知向上への取り組みを開始いたします。

■希少遺伝性疾患の早期発見・診断・治療の重要性を伝えていく意義

当社は、治療法がない疾病分野や難病、希少疾患などを対象にした革新的な医薬品の開発や導入を通じて、国民生活や医療水準の向上に貢献することを目標としています。これまでの開発や導入の知見を活かして、希少遺伝性疾患検査を主目的とした衛生検査所「アンジェスクリニカルリサーチラボラトリー (ACRL)」を開設し、2021年4月より一般社団法人 希少疾患の医療と研究を推進する会 (以下、「CReARID」という) から拡大新生児スクリーニング検査である「オプションスクリーニング」を受託しております。

希少遺伝性疾患の中には、症状が出る前に早く見つけて、適切な時期に治療を開始しないと十分な治療効果を得られないことや、また、稀な疾患のため、日常的な診療で発見することが難しく、見つけた時には症状が進行しまっている場合があります。

近年では治療法や治療薬の開発が進み、スクリーニング検査で疾患を早期に発見し診断して治療を開始することで、適切な治療を行い、発症を防ぐ(症状を抑える)ことが期待されています。

CReARIDでは、オプションスクリーニングの普及と啓発を目的に、「こどもの病気を早く見つけ早く治療を始められるようにオプションスクリーニングについて」と題した映像を公開しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=001ynMI7ziQ&t=1s>

当社は、CReARIDが行っている普及啓発活動に対するサポートとして、この度、2023年10月10日の「赤ちゃんの日」より、出産を控える方やそのご家族や友人の方などの皆さまに、スクリーニング検査で、疾患を早期発見することの重要性を伝えるCReARIDの映像をご覧いただくためのQRコードを「お手紙」として配布するという形で、啓発のお手伝いをする事といたしました。

この「お手紙」は、2023年10月11日(水)～10月13日(金)にパシフィコ横浜で開催される、厚生労働省主催のイベント「ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット2023」でも配布予定です。

また、様々な機会を通じて、希少遺伝性疾患のスクリーニング検査についてご理解いただくための活動を続けてまいります。

※赤ちゃんの日とは

「赤ちゃんの日」は、赤ちゃんがママのおなかにいる期間「トツキトオカ」に由来し、2010年に株式会社赤ちゃん本舗が制定し、日本記念日協会に登録されました。

「赤ちゃんの日」は、赤ちゃんの健やかな成長を祈り、「生まれてきてくれてありがとう」を伝える日です。いつも周りを笑顔にしてくれ、元気をくれる赤ちゃんに感謝し、赤ちゃんのことを思う日として、毎年さまざまな取り組みが行われています。

<https://www.akachan.jp/akachannohi1010/>

※CReARIDについて

一般社団法人 希少疾患の医療と研究を推進する会の略称。希少遺伝性疾患の新しい治療法が日々開発されていますが、早期発見・早期治療が必要です。CReARID では、最新の検査技術を用いて、発症早期あるいは発症前の発見に寄与し、希少遺伝性疾患の診断に苦慮する一般の医師と専門医をつなぎ、早期診断と適切な治療選択を支援する活動を展開しています。

<http://www.crearid.or.jp/>

アンジェス株式会社お問い合わせ先

一般のお問い合わせ <https://www.anges.co.jp/contact/>

報道関係のお問い合わせ <https://www.anges.co.jp/press/>